



社会福祉
法人

豊中市社会福祉協議会

1999年(平成11年)3月31日

第29号

発行

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

編集委員会

〒560-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 TEL (6848) 1000

ボランティアセンターだより

決定！！ ボランちゃん

1998年11月3日、ヒューマンカーニバルで決定した豊中のボランティアイメージキャラクター。その子が大阪北生協ともしびボランティアグループ「おもちゃ箱」と市社協登録ボランティアグループ「小さな手」の方々の協力でこんなすてきな着ぐるみになりました。また、第6回豊中ボランティアフェスティバルでは市民投票により、名前が「ボランちゃん」に決定。皆さん、かわいがってくださいね！



ボランちゃんです。
よろしくね！！

大変身！



ボランティアグループあれこれ

大阪北生協ともしびボランティアグループ 「おもちゃ箱」

障害児のための布絵本、遊具作りをしている「おもちゃ箱」は「ボランちゃん」の大きな頭と手に持っているクローバーを製作しました。着ぐるみを作るのはグループ結成以来(17年余)初めてのことで、大冒険でした。初め設計図？どおり二頭身、頭の直径1mに挑戦し、すぐ挫折しました。活動している部屋の入り口の幅が75cmだったからです。最後まで頭の重さと固定に悩みながら、今回、「小さな手」と共にボランちゃんを難産したことはとても意義深く、又、可愛い「ボランちゃんのプリクラ」と共に楽しい思い出になりました。

市社協登録ボランティアグループ「小さな手」

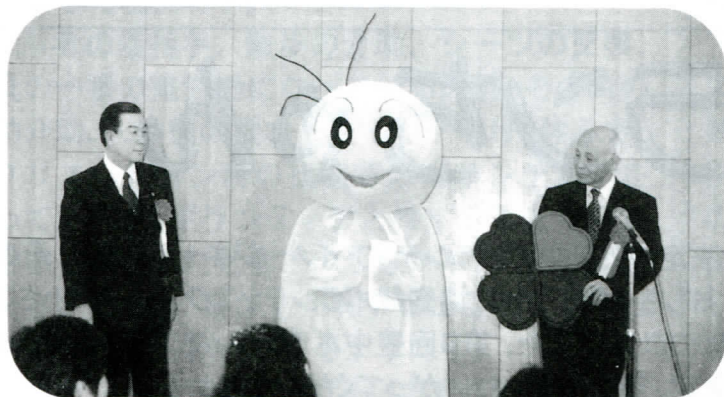
小さな手は、豊中市社会福祉協議会登録ボランティアグループの一つです。私達は介護者家族の会を支援する目的で集まりました。その活動の一つとして介護用品を作っています。今はその部分が大きくなり、色々とニーズに合わせて、寝間着のリフォームや床ずれマット等を工夫しながら仲間と共に楽しく作っています。

最近の楽しかったことは、イメージキャラクター『ボランちゃん』の製作です。胴体部分を手がけました。七名のチームを作り、型紙をはじめ何をするにも初めてなので、大きさを考えるのに段ボールの箱に入ったり、接着剤の臭いと戦いながら何とか型にしました。布を買いに「おもちゃ箱」の皆さんと一日本町をうろうろしたり、と苦労も多かったのですが、可愛い『ボランちゃん』の誕生となりました。他のグループの方との交流が深くできたこともうれしいことでした。(M. Y)

第6回豊中ボランテ

1999年2月21日(日)、豊中市立市民会館にて第6回豊中ボランティアフェスティバル
 今年は例年のステージ発表、展示・即売コーナーに加え、ボランティアイメージキャラクター名

～ステージでは～



市長・議長がイメージキャラクターと共に登場！



オープニングは障害者福祉
 作業所「たんぽぽ」による
 「踊ろう ボンダンス」



豊島北校区のみなさんによ
 るコーラス「コールブルーメ」



語りあおう！



少路小学校6年生による手話歌

子どもたちの感想文より

私は手話で歌を練習するなんてできるかな…と、初めは不安でした。でも何回も練習しているうちにだんだんできてきて、自信もできました。そして、先生がもってきたビデオを見た後は、手話に気持ちを込めてやろうと思ってやりました。ボランティアフェスティバルの会場は、みんな楽しそうに手話で会話したりしていました。それと、周りにはあってあったポスターを見ていて、豊中市にはこんなにたくさんの人がボランティアに参加してくれているなんて、すごいなあと思いました。『おくりもの』と『マイバラード』を、私は思いっきり気持ちを込めてやりました。すると周りのおばあちゃんたちもまねをして、笑いながら楽しそうにしてくれているのを見て、私はすごくうれしかったです。これまで老人ホームへ行ったり、いろいろな活動をしてきたけど、自分がしたことをみんなが喜んでくれるのはとても気持ち良かったし、うれしかったです。大人になってもボランティア活動は続けていきたいです。

ィアフェスティバル

が開催されました。当日は、天気にも恵まれ、延べ1000人もの方々が訪れました。称投票、市長・議長のパフォーマンスなど盛りだくさんの内容となりました。

～展示・即売・体験コーナーでは～



階段昇降車の体験中！！



なかまの店も大盛況

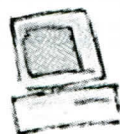


ボランティアはいま

昨年9月、ようやくボランティアセンターのホームページが完成しました。それを機に、ホームページ作りに携わった8名を中心に10番目の市社協登録ボランティアグループ「アクセス」を結成しました。今回の「ボランティアはいま」はできたてほやほやの「アクセス」で活動している方々の声をご紹介します。

その名も「アクセス」

昨年9月、市社協ボランティアセンターのホームページが立ち上がりました。その時の参加者を中心にボランティアグループ「アクセス」が誕生し、新鮮で正確な情報を提供できるよう活動に励んでいます。開設以降わずか半年で1300件を超えるアクセス件数からもボランティアに対する関心の深さが伺えます。時間的なこと、活動内容などボランティアへの疑問や不安がおありの方は気軽にホームページを開いてみませんか？ いろいろな活動を通して多くの人たちが少しずつ関わっている様子をご覧いただけることでしょう。このホームページが無理なく自然にボランティア活動に関わってゆけるきっかけとなれば、とてもうれしいことだと思います。(T.D)



阪神大震災の五日後、車椅子をレンタルして西宮の避難所に祖母を迎えに行った帰り道の事です。瓦礫と人の列に立ち往生していると、後ろのほうから「車椅子通るよ！」と大声が聞こえると同時にずっと前の方まで道が開けました。その後、電車の乗降時にも何処からともなく、援助の手を差し伸べていただき本当に助かりました。

あの時お腹にいた下の子が、今年は幼稚園。少し時間に余裕が見えるようになったので、「できることから」と思い立ち「アクセス」でホームページ作りのお手伝いをするようになりました。ベテランボランティアの皆さんに囲まれて、楽しく作業しています。今後も少しずつ、活動の幅を広げていければと思っています。(N.O)

震災から4年・・・あの瞬間を忘れない

あれから、もう4年、まだ4年。感じ方は人それぞれだが、あの思いは忘れてはいけないという気持ちは変わらない。1月17日8時30分 災害支援訓練が行われた。マニュアルに従い福祉救援対策本部が設置され、被害状況の調査や住民の安否確認、北消防署の指導のもと救急訓練がおこなわれた。現地対策本部が設置された市立東豊台小学校と無線連絡をとりながら移動した。東豊台小では地域住民が火災を想定したバケツリレーや炊き出しがおこなわれた。

福祉会館での災害支援訓練



東豊台小学校での訓練の様子

「震災から4年・・・今豊中で」のテーマでパネルディスカッションがおこなわれ、市の防災計画の説明や今後の課題が話し合われた。仮設から恒久住宅へ変わってもまだ問題解決になっていない被災者の生活実態など。

冷え込む体育館に震えながらの討論会だった。この体育館で恐怖のなか暖かな食事でもまならず過ごさなければならなかった被災者を思わずにはいらなかった。(K. S)

企業・団体の社会貢献活動

ポケモンジェットに会えるDAY

豊中市内の障害者福祉作業所を招いた「ポケモンジェットに会えるDAY」がこのほど大阪空港全日空格納庫で開かれ、参加した約100人がポケモンジェットの機内を見学したり、座席に座ったりして楽しい一日を過ごしました。

この事業は、普段、飛行機に搭乗する機会が少ない障害者の方々に飛行機に楽しんでもらえば…と全日空と全日空労組が合同で開催。

市社協では、登録ボランティアグループ「みちしるべ」が事前にスタッフに車イスやアイマスクをつけて階段昇降などの体験講習会を実施。その後、障害者をタラップで階段介助して、スチュワーデスの接客や、普段なかなか見ることのできないコックピットの中の見学など楽しい一日を過ごしました。

不況で社会貢献活動を行うことが各社団体とも厳しい時期ですが、その中でも地域に根ざしたさまざまな取り組みが生まれています。市社協では、こうした社会貢献活動も応援していきます。

～当日の感想文より～

「ポケモンジェットに会えるDAY」では、皆様とのひとときを過ごすことができ、大変有意義な1日でした。どうもありがとうございました。今後は、お体の不自由な皆様の大変さを少しでも理解し、一人でも多くの方が気軽に何かお手伝いをできるよう、航空会社の一員として努めていきたいと思っています。

(全日空 大阪支店販売計画部旅客業務課
尾端 志麻)



大きな大きなひこうきをみてびっくりしました。こんどは、ひこうきにのってとおくへいきたいです。きれいなかみのけのながいおねえさんにジュースをもらいました。とてもうれしかったです。またいきたいです。

(あすなろ工房 田中 一憲)



ボランティアレポーター訪問記

ご存知ですか？豊中市立老人保健施設「かがやき」

平成9年8月、モノレール柴原駅の南側に6階建の最新設備をそなえた施設です。

10年1月から入所者100人の生活がはじまりはや1年がたちました。希望者が多く、約2ヶ月まちの現状です。

入所者の話相手、散歩の介助、シーツの交換、職員の一番の重労働になっている入浴、その時の移動介助、入浴後の髪のドライヤーかけ、体ふき、レクリエーション時の援助等のボランティアを募っています。ボランティアと接することで今まで経験しなかった社会とのつながり、人との出会いからたのしみ、喜びを共有することからリハビリへの気力も、わいてくるようです。

入所者が機能訓練にはげみ、自立され家庭生活に復帰されること、又ご家族の介護負担軽減が来ると、この施設の名称どおり、一人でも多くの方に明るいかがやきを与えられるでしょう。

(みちしるべ N. H)



1999年3月9日(火) 「みちしるべ」 かかやき見学

今後の予定

6~7月 ボランティアスクール入門講座

7~8月 青少年

サマーボランティアスクール
ボランティア体験プログラム
社会人のための
ボランティアスクール

編集後記

元気に活動していた私が所要で自転車に乗り転倒。コブはブヨブヨで1ヶ月間頭部を冷やして寝たきりの状態。

気持丈は前に走るけれど急ぐときほどゆっくりと。今は娘に甘え乍ら様々な老後を考えて、怪我に感謝しています。どうぞ皆様もご自分を過信せず、ボランティアにご精進下さい。(T. N)

ボランティア中級セミナー

2月25日(金)市立福祉会館にて「ボランティアの有償性について」をテーマに講座を開催しました。この講演は、5回にわたって開催された「ボランティア中級セミナー」の初日に行われたもので、梅花女子大学の太塚 保信教授を講師に招き、講演会のあと受講者との意見交換を行いました。

講演のなかで「ボランティア活動とボランティア活動の違い」や「ボランティア活動は原則として無償の活動で少しでも有償の場合は協力員等の別の名称をつける方が好ましいのではないか」との話が出ると受講者からは次々といろいろな質問が飛び出していました。

ボランティア活動を続けていく上で、常に論議される難しいテーマでしたが、「ボランティアの基本が再認識できた」「無理なく背伸びせず自分の持っている力の範囲でボランティア活動を続けていくのが一番」など多くの感想が寄せられ、実りある講座になりました。

～お知らせ～

★使用済みプリペイドカード集めてます！！

「もういらないから…」と捨ててしまおうと思っている使い終わったテレフォンカードや回数券を、福祉のために役立ててみませんか。市社協では使用済みプリペイドカードを集めています。このカードは換金して市社協の事業費として活用させていただきます。

対象となるのは

テレフォンカード、ラガールカードなど回数券

お問合せは

豊中市社会福祉協議会 Tel. 06-6841-9393

★ボランティアセンターだより編集委員募集！！

あなたもボランティアセンターだよりの編集に携わってみませんか？文章を書くのが好きな方、イラストを描くのが得意な方などなど大募集しています。

お問合せは

豊中市社会福祉協議会 Tel. 06-6841-9393

